

教科・科目	SAGAs・GS総合科学探究 I	学年	高 II	単位	2	分類	必修
教科書							
副教材	「課題研究メソッド」(新興出版社啓林館)						
目標	1. 科学的な方法を用いた多様なテーマの課題研究に取り組み、科学的な探究スキルを身に付ける。 2. 広島大学の留学生等との課題研究を通じた交流を図り、グローバルマインドや共創力を身に付ける。						
年間授業計画(進度)							
	単元	学習内容	時数	目標・内容			
4月	年間計画の見直しを立てる	○先行研究の調査 ○リサーチエッセイの設定 ○研究計画の立案 ○仮説の設定	3	課題研究を始めるにあたって、事前に行うべき内容について理解し、それを実施する。			
		●指導教員による指導	1	通常授業外の時間を活用して指導教員と研究テーマ決定に向けて協議する。			
5月	課題研究を始めるにあたって	○実験・調査の準備 ○予備実験・調査の実施 ○リサーチエッセイの再設定 ○仮説の再設定	4	研究テーマに沿った実験や調査を準備、実施し、その結果をもとに、必要であれば、リサーチエッセイや仮説を再設定し、研究計画を見直す。			
		●指導教員による指導	2	通常授業外の時間を活用して指導教員と課題研究の進め方について協議する。			
6月		○課題研究の実施	4	研究計画に沿って課題研究を実施する。			
		●指導教員による指導	1	通常授業外の時間を活用して指導教員と研究テーマの適・不適を改めて協議し、研究計画を決定する。			
7月		○本実験・調査の実施 ○1学期のまとめ	2	課題研究を研究計画に沿って実施する。 1学期のまとめを行う。			
		●指導教員による指導	1	通常授業外の時間を活用して指導教員と1学期のまとめを行い、今後の課題を明確にするとともに、夏季休業中および2学期の研究計画を立案する。			
8月	課題研究の実施①	●高大接続事業	8	夏季休業中を利用し、研究テーマと関連する大学の研究者による指導の機会を設定し、課題研究の深化・発展を目指す。			
9月		○課題研究の実施	4	研究計画に沿って課題研究を実施する。			
		●指導教員による指導	2	通常授業外の時間を活用して指導教員による課題研究の指導を行う。			
10月		○課題研究の実施	4	研究計画に沿って課題研究を実施する。			
		●指導教員による指導	1	通常授業外の時間を活用して指導教員による課題研究の指導を行う。			
11月	課題研究の中間まとめ	○課題研究の実施 ○ポスターの作成 ○課題研究中間発表会 ○科学と倫理に関する特別講義	6	課題研究中間発表会に向けて、これまでの研究結果を分析し、考察等を行い、ポスターを作成する。また、課題研究中間発表会に向けて、発表練習を行う。 外部講師を招聘し、科学と倫理の関係についての特別講義を実施する。			
		●指導教員による指導	2	通常授業外の時間を活用して指導教員による課題研究中間発表会に向けた指導を行う。			
12月		○仮説の再設定 ○課題研究の実施 ○2学期のまとめ	3	課題研究中間発表会に向けたまとめで明らかになった課題に基づき、必要ならば仮説の再設定や研究計画の修正を行う。 2学期のまとめを行う。			
		●指導教員による指導	2	通常授業外の時間を活用して指導教員による課題研究の指導を行う。			
	課題研究の実施②	●高大接続事業	4	冬季休業中を利用し、研究テーマと関連する大学の研究者による指導の機会を設定し、課題研究の深化・発展を目指す。			
1月		○課題研究の実施	4	研究計画に沿って課題研究を実施する。			
		●指導教員による指導	1	通常授業外の時間を活用して指導教員による課題研究の指導を行う。			
2月		○課題研究の実施 ○ポスターの作成 ○課題研究発表会 ○科学者による特別講義	4	課題研究発表会に向けて、これまでの研究結果を分析し、考察等を行い、ポスターを作成する。また、課題研究発表会に向けて、発表練習を行う。 外部講師を招聘し、先端的な科学に関する特別講義を実施する。			
		●指導教員による指導	2	通常授業外の時間を活用して指導教員による課題研究発表会に向けた指導を行う。			
3月	課題研究のまとめ	○課題研究のまとめ	3	課題研究の内容を英語でまとめ、発表の準備及び練習を行う。 1年間の課題研究のまとめを行う。 次年度に行う論文作成に向けた研究計画を策定する。			
		●指導教員による指導	2	通常授業外の時間を活用して指導教員による指導、1年間のまとめ、次年度の研究計画の指導を行う。			
評価規準	知識・技能	探究の過程全体を自ら遂行するための知識及び技能や、研究倫理にかかわる基本的な知識を身に付けている。					
	思考・判断・表現	・多角的・多面的、複合的な視点で事象を捉え、科学的・数学的な課題として設定することができる。 ・探究を通じて課題を解決するために、多様な価値観や感性を有する人々と議論等を通じて多角的・多面的に思考するとともに、探究の過程全体を自ら遂行することができる。					
	主体的に学習に取り組む態度	・様々な事象に対して知的好奇心をもって科学的・数学的に捉えようとし、新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦したりしようとする。 ・科学的・数学的な課題や事象に徹底的に向き合い考え抜こうとする。 ・適宜見直しを立てたり、学習内容を振り返ったりするとともに、新たな疑問を抱き、次につなげようとする。					
評価の方法	授業中の学習状況、研究ノート、各学期のまとめ、作成したポスター、ポスター発表の状況などから総合的に判断し、評価する。						
備考	年間授業時数・70時間 2単位のうち、○を付した内容を通常授業内で実施し、●を付した内容を通常授業外で実施する。						